

大人のための情報モラル通信

デジタルタトゥーの恐ろしさについて

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

ネット社会となった昨今、自分が意図しない形でインターネット上に「**自分に関する嫌な情報**」が残ってしまう、消したくても消えないケースが増えています。

デジタル空間の情報が入れ墨のように消えないことから、「**デジタルタトゥー**」と呼ばれています。これは、社会的な責任追及よりも恐ろしい場合があります。



一般的に「デジタルタトゥー」は「自業自得」な部分がほとんどです。自らの不適切行為・情報発信を契機に、悪い情報が広く拡散され、**半永久的にネットに残ります**。

その行為について刑事処分や損害賠償等により社会的な責任を果たしても、そもそもそれが犯罪・不法行為でなかったとしても、**たいていの情報は削除されません**。



★法律・モラル・社会常識の欠如に厳しいインターネット空間★

世の中には多くの人が守れていないルールがありますが、それらがもれなく罰せられることはありません。しかし、ネット上でそれが露見すると、**絶好の炎上ネタ**になり得ます。

炎上すると情報が拡散されて「デジタルタトゥー」化します。**「悪い人・非常識な人**」という情報が半永久的にネット空間に残ります。進学・就職・結婚等、全く予期していなかった場面で、思わぬ悪影響が出る恐れがあります。

また、本人に落ち度がなさそうな場合でも、「誰か」から攻撃を受けて「**嘘の事実**」が「**デジタルタトゥー**」化することもあります。これの名誉回復も一般人ではかなり難しいでしょう。



「デジタルタトゥー」は不道德・無知により引き起こされやすいです。攻撃を受けた場合も、契機は自らの情報発信かも知れません。**どんな情報でも快く思わない人は存在します**。ネット空間の性質・悪意を想像して、「**情報を発信しない**」という選択も重要です。